

平成30年度

福島県の一般廃棄物処理の状況

(平成31年3月末現在)



リーフィンクル

福島県ごみ減量化・リサイクル推進マスコットキャラクター

令和3年3月
福島県生活環境部
一般廃棄物課

目 次

第1編 本編	1
1 福島県の一般廃棄物処理について	2
(1) 平成30年度一般廃棄物処理事業の概要	2
(2) 福島県廃棄物処理計画	5
2 福島県のごみ処理の状況	6
(1) ごみの排出量について	7
(2) ごみの分別数の状況について	11
(3) ごみの処理状況について	12
(4) リサイクル率・資源化率について	14
(5) 最終処分場埋立量について	16
3 福島県のし尿処理の状況	18
(1) 水洗化の状況について	18
(2) し尿及び浄化槽汚泥の処理方法について	18
(3) 浄化槽の設置状況について	21
第2編 統計データ編	23
1 平成30年度廃棄物処理事業経費	24
2 平成30年度廃棄物処理事業委託・許可件数	32
3 平成30年度廃棄物処理業者及び従業員の状況	33
4 平成30年度ごみ処理の概要	34
5 平成30年度ごみ搬入量の内訳	38
6 平成30年度ごみ処理量の内訳	45
7 平成30年度資源化量の内訳	48
8 平成30年度ごみ処理手数料の状況（生活系）	52
9 平成30年度ごみ処理手数料の状況（事業系）	60
10 平成30年度ごみの収集運搬体制の状況（生活系）	68
11 平成30年度ごみの収集運搬体制の状況（事業系）	78
12 市町村におけるごみ減量化推進体制整備状況	88
13 市町村における生ごみ処理機（コンポスト容器も含む）普及促進策	89
14 住民団体等による集団回収への援助措置実施状況	92
15 平成30年度一般廃棄物処理施設整備事業一覧（国費による助成事業）	93
16 平成30年度水洗化人口等の状況	94
17 平成30年度し尿処理の状況	96
第3編 資料編	99
1 一般廃棄物処理施設の状況	100
2 市町村廃棄物関係担当課一覧	114
3 一部事務組合一覧	116

第1編 本編

1 福島県の一般廃棄物処理について

(1) 平成30年度一般廃棄物処理事業の概要

ア 計画処理区域

平成30年10月1日現在の福島県の人口は1,920,716人で、ごみ処理及びし尿処理ともに県全域(13,783.90km²)が処理区域となっています。

一般廃棄物処理事業は、市町村及び一部事務組合により行われており、平成31年3月31日現在では、13市31町15村の59市町村、13組合となっています。

イ 一般廃棄物処理事業経費

平成30年度の市町村における一般廃棄物処理事業費は約367億円で、前年度(約369億円)と比較すると約0.5%減少しています。

表-1 平成30年度一般廃棄物処理事業費 (単位:千円)

廃棄物処理事業経費	ごみ処理経費 35,429,267			し尿処理経費 4,269,214		
	建設改良費	処理及び維持管理費	その他	建設改良費	処理及び維持管理費	その他
36,698,481 (36,898,991)	14,189,044 (10,957,045)	19,825,585 (19,891,800)	1,414,638 (1,268,773)	378,775 (1,035,345)	3,612,925 (3,476,210)	277,514 (269,818)

(注)建設改良費:施設の建設や改良に係る工事費、調査費

処理及び維持管理費:通常の処理に係る人件費、処理費、修繕費、車両等購入費

()の数値は平成29年度実績

ウ 一般廃棄物処理業者数等の状況

平成30年度末現在のごみ処理及びし尿処理を委託又は許可をしている業者数は624、その従業員数は6,343人となっており、前年度と比較すると、業者数は減少しており、従業員数は増加しています。

表-2 一般廃棄物処理業者数等

県内に主たる事務所を有する事業者				従業員数(人)			
総数	ごみ専業	し尿専業	兼業	合計	収集運搬	中間処理	最終処分
624 (633)	495 (505)	100 (112)	29 (16)	6,343 (6,058)	5,038 (4,706)	1,300 (1,354)	12 (12)

(注1)()内は平成29年度実績

(注2)従業員数は、業務の兼務により、内訳と合計数が一致しません。

エ 一般廃棄物処理施設設置状況

平成 30 年度末における稼働中の一般廃棄物処理施設は 107 施設で、ごみ処理施設が 62 施設、し尿処理施設が 23 施設、一般廃棄物最終処分場が 22 施設となっており、それぞれの施設整備に当たっては、主に循環型社会形成推進交付金（平成 16 年度以前は廃棄物処理施設整備費国庫補助金）が活用されています。

表-3 一般廃棄物処理施設設置状況 (平成 30 年度末現在)

施設種類		施設数	施設能力
ごみ処理施設	ごみ焼却施設	22	3,057 (t/日)
	粗大ごみ処理施設	14	488 (t/日)
	資源化施設	26	303 (t/日)
	小計	62	
し尿処理施設	し尿処理施設	21	1,989 (kl/日)
	コミュニティプラント	2	計画処理人口 5,540 人
	小計	23	
一般廃棄物最終処分場		22	残余容量 783 千 m^3 残余年数 10.5 年
合計		107	

(注) 残余年数は、残余容量を平成30年度の埋立容量実績(覆土を含む)で除したものの。

オ ごみ処理有料化の状況

生活系ごみのうち、可燃物及び不燃物については、市町村の約 4 割、事業系ごみについては、約 8 割強で有料化が図られています。

また、し尿及び浄化槽汚泥の処理については、収集を行っているすべての市町村（委託を含む）で有料化されています。（表-4、表-5 参照）

表－4 ごみ処理有料化の状況(単位:市町村数)

種 類		生活系ごみ (割合%)	事業系ごみ (割合%)
可燃ごみ		24 (40.7%)	51 (86.4%)
不燃ごみ		24 (40.7%)	46 (78.0%)
資源ごみ	紙 (紙パック、紙製容器包装を除く)	5 (8.5%)	24 (40.7%)
	紙パック	5 (8.5%)	23 (39.0%)
	紙製容器包装	5 (8.5%)	22 (37.3%)
	金属	11 (18.6%)	19 (32.2%)
	ガラス	11 (18.6%)	19 (32.2%)
	ペットボトル	11 (18.6%)	19 (32.2%)
	白色トレイ	12 (20.3%)	20 (33.9%)
	容器包装プラスチック	12 (20.3%)	20 (33.9%)
	プラスチック (白色トレイ、容器包装プラスチックを除く)	3 (5.1%)	4 (6.8%)
	布類	0 (0.0%)	1 (1.7%)
	生ごみ	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	その他	0 (0.0%)	2 (3.4%)
	その他収集ごみ		2 (3.4%)
粗大ごみ		22 (37.3%)	35 (59.3%)

(注1) 割合の分母は平成29年度末現在の市町村数で59です。

(注2) 資源ごみの「その他」は、再資源化を目的として収集されるもののうち、他の品目に分類できないものを指し、具体的には廃食油、剪定枝、小型家電等です。

(注3) 「その他収集ごみ」は他の種類に分類できないごみであり、「有害ごみ」や「危険ごみ」などがあります。□

表－5 し尿及び浄化槽汚泥の処理手数料の状況(単位:市町村数)

種 類	有料		無料
	従量・回数制	定額制	
し尿	38(64.4%)	4(6.8%)	0
浄化槽汚泥	38(64.4%)	3(5.1%)	0

(注) 割合の分母は平成30年度末現在の市町村数で59です。(他13市町村では、非委託許可業者により、し尿及び浄化槽汚泥の汲み取りが実施されています。)

(2) 福島県廃棄物処理計画

現在の「福島県廃棄物処理計画」は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）及び各種リサイクル法等の改正や東日本大震災の発生といった状況の変化を踏まえ、平成 27 年 3 月に地球温暖化対策にも配慮した循環型社会形成の取組を強化していくという基本的な考え方の下、策定したものです。

ア ごみ処理に関する課題

- ①ごみの発生抑制や最終処分量の削減を推進するための施策を引き続き実施していくとともに、リサイクル率向上のための施策の充実を図ることが必要です。
- ②既存施設の長寿命化や延命化、地球温暖化対策に配慮した施設への転換や災害への対応を考慮した施設整備、原発事故に伴う避難区域帰還後のごみ処理体制の再構築が必要です。
- ③大規模な災害発生時の廃棄物処理対策が円滑に進むよう、災害廃棄物処理計画の策定や見直しの検討、ごみの不適正処理防止の普及啓発や不法投棄しにくい環境づくりが必要です。

イ 基本方針

一般廃棄物に関する課題を踏まえ、次の 3 つの事項を施策の基本方針として取り組んでいくこととします。

- | |
|---|
| ① 3 R（リデュース：ごみの発生抑制、リユース：再使用、
リサイクル：再生利用）の推進 |
| ② ごみ処理施設の適切な整備及び維持管理の促進 |
| ③ ごみの適正処理の推進 |

ウ ごみ減量化・リサイクルの目標値（令和 2 年度における目標値） 県民に分かりやすい指標として次のように目標値を設定しました。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ① 1 人 1 日当たりのごみの排出量 | 9 3 5 g / 人・日以下 |
| ② リサイクル率 | 2 1 . 0 % 以上 |
| ③ 1 日当たりの最終処分量 | 2 0 0 t / 日以下 |

エ 目標達成のための推進施策

目標を達成するため、次の施策の推進を図ることとします。

① 3R（ごみの発生抑制、再使用、再生利用）の推進

- 意識啓発の推進
- ごみの発生抑制（リデュース）の推進
- 再使用（リユース）の推進
- 再生利用（リサイクル）の促進
- 各種リサイクル法に基づく再生利用の推進

② ごみ処理施設の適切な整備及び維持管理の促進

- ごみ処理施設の長寿命化と延命化
- 廃棄物系バイオマス利活用のための施設設置の促進

③ ごみの適正処理の推進

- 災害廃棄物の適正かつ円滑な処理の促進
- 不適正処理防止のための環境づくり

2 福島県のごみ処理の状況

○ 福島県のごみ処理の状況（平成30年度）

1 ごみの排出量

(1) 排出量

721,322 (t / 年) 【前年度737,242 t / 年】

前年度と比較すると15,920 t 減少しています。

(2) 1人1日当たりの排出量 【目標値935 g / 人・日以下】

1,029 (g / 人・日) 【前年度1,042 g / 人・日】

前年度と比較すると13 g 減少し、目標値と比較すると94 g オーバーしています。

2 リサイクル率 【目標値21.0%以上】

12.9 (%) 【前年度13.3%】

前年度と比較すると0.4ポイント減少しており、目標値との比較では8.1ポイント足りない状況です。

3 最終処分場埋立量

(1) 総埋立量

66,257 (t / 年) 【前年度66,724 t / 年】

前年度と比較すると467 t 減少しています。

(2) 1日当たりの埋立量 【目標値200 t / 日以下】

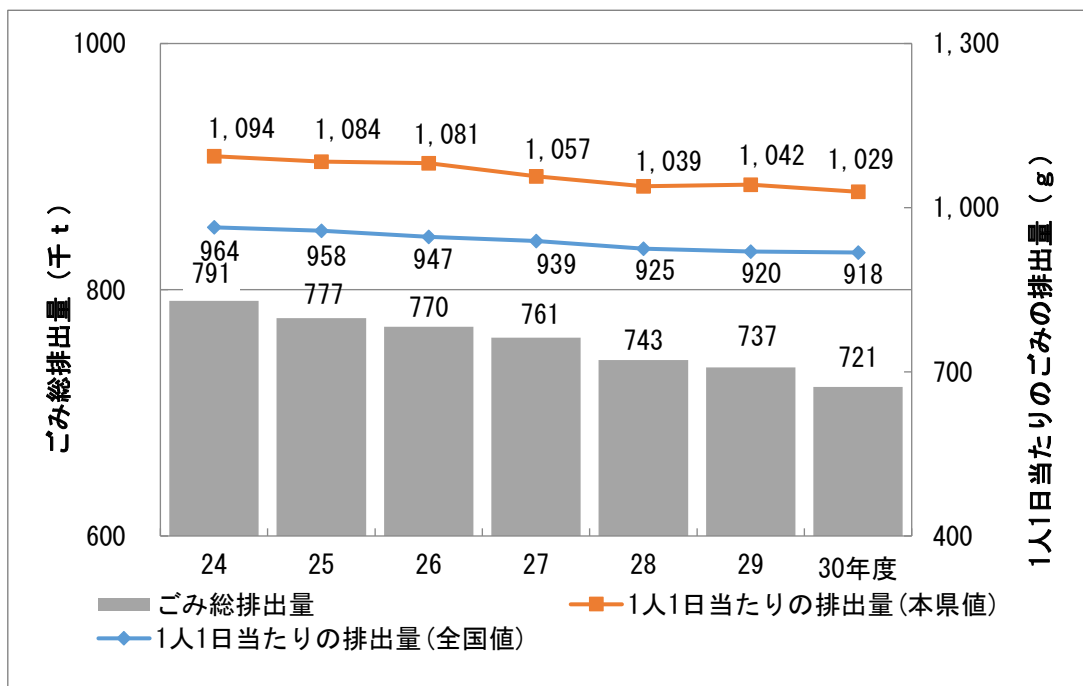
182 (t / 日) 【前年度183 t / 日】

前年度と比較すると1t減少しており、目標値を達成しています。

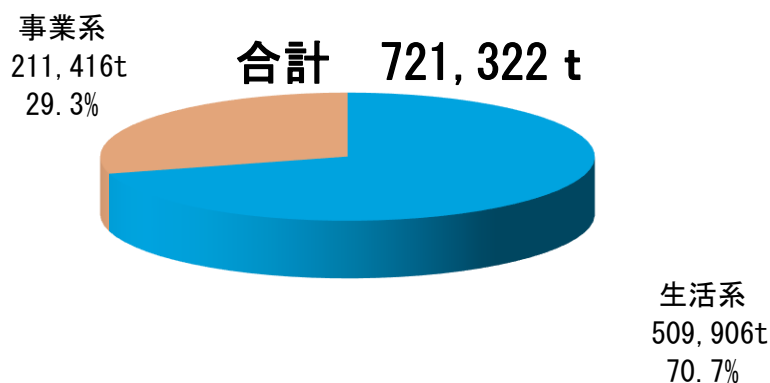
(1) ごみの排出量について

平成 30 年度におけるごみの総排出量は 721,322 t で、1 人 1 日当たりに換算すると 1,029 g となります。これを全国平均の 918 g と比較すると 111 g 多くなっています。

また、生活系・事業系に分類すると、生活系ごみが 509,906 t、事業系ごみが 211,416 t と、生活系ごみが約 71% を占めています。



図－1 ごみの排出量の推移



図－2 生活系ごみと事業系ごみの排出割合

○ 市町村別 1 人 1 日 当たり の ご み 排 出 量 の 状 況

市町村別のごみ排出量の状況は表－6、平成 29 年度と比較して 1 人 1 日 当 たり の ご み 排 出 量 が 減 少 し た 市 町 村 の ラ ン キ ン グ は 表－7 の と お り で す。

また、人口規模別の 1 人 1 日 当 たり の ご み 排 出 量 が 少 ない 市 町 村 の ラ ン キ ン グ は 表－8 の と お り で す。平成 30 年度は 34 市町村で前年度よりも排出量が増加しています。

表-6 市町村別のごみ排出量の状況

市町村名	計画処理 区域内 人口 (人)	ごみの総排出量 (t)				1人1日当たりの排出量 (g/人・日)			資源化量 (t)	リサイクル率 (%)	有料化 実施 市町村
		生活系ごみ 排出量 (t)	事業系ごみ 排出量 (t)	集団回収量 (t)	合計	生活系ごみ 排出量(集団回 収量含む) (g/人・日)	事業系ごみ 排出量 (g/人・日)	合計			
福島市	279,786	87,634	30,721	2,305	120,660	881	301	1,182	8,636	9.3	
伊達市	60,164	17,495	6,749	641	24,885	826	307	1,133	2,239	11.6	
桑折町	11,973	3,457	1,406	73	4,936	808	322	1,129	526	12.1	
国見町	9,220	2,273	1,091	222	3,586	741	324	1,066	219	12.3	
川俣町	13,434	3,941	2,014		5,955	804	411	1,214	420	7.1	
二本松市	55,181	13,264	3,323		16,587	659	165	824	2,995	18.1	
大玉村	8,756	2,012	413		2,425	630	129	759	442	18.2	
本宮市	30,525	7,316	2,036		9,352	657	183	839	1,507	16.1	
郡山市	324,267	85,279	51,228	4,891	141,398	762	433	1,195	8,833	9.8	
須賀川市	76,730	19,765	7,195		26,960	706	257	963	2,342	8.7	
鏡石町	12,668	3,111	516	164	3,791	708	112	820	313	12.6	
天栄村	5,694	1,423	388	60	1,871	714	187	900	133	10.3	
石川町	15,442	3,562	1,381		4,943	632	245	877	459	9.4	○
玉川村	6,763	1,424	555		1,979	577	225	802	202	10.4	○
平田村	6,162	1,063	615		1,678	473	273	746	168	10.0	○
浅川町	6,479	1,545	569		2,114	653	241	894	211	10.0	○
古殿町	5,638	1,009	423		1,432	490	206	696	146	10.2	○
田村市	37,266	7,995	3,117	337	11,449	613	229	842	1,672	17.6	○
三春町	17,237	4,493	1,419	106	6,018	731	226	957	1,264	23.0	○
小野町	10,279	2,163	908		3,071	577	242	819	382	12.4	○
白河市	60,256	14,513	7,107		21,620	660	323	983	2,199	10.2	○
西郷村	20,129	4,257	2,401		6,658	579	327	906	616	9.2	○
泉崎村	6,517	1,314	636		1,950	552	267	820	233	11.9	○
中島村	5,096	996	211		1,207	535	113	649	138	11.4	○
矢吹町	17,447	3,764	1,898	129	5,791	611	298	909	526	11.3	○
棚倉町	14,184	3,753	1,206		4,959	725	233	958	480	9.3	○
矢祭町	5,824	1,378	358		1,736	648	168	817	204	10.0	○
塙町	8,851	2,343	551		2,894	725	171	896	307	10.0	○
鮫川村	3,417	694	71		765	556	57	613	106	11.6	○
会津若松市	119,680	33,339	14,885	1,705	49,929	802	341	1,143	5,169	13.8	
磐梯町	3,498	979	475	4	1,458	770	372	1,142	159	11.2	
猪苗代町	14,417	4,022	2,054	280	6,356	818	390	1,208	656	14.7	
会津坂下町	16,155	3,469	1,495		4,964	588	254	842	531	10.7	○
湯川村	3,262	734	221		955	616	186	802	39	4.1	
柳津町	3,428	696	361		1,057	556	289	845	56	5.3	
三島町	1,654	471	99		570	780	164	944	69	12.1	
金山町	2,096	496	85		581	648	111	759	27	4.6	
昭和村	1,276	336	56		392	721	120	842	22	5.6	
会津美里町	20,588	5,721	1,542	138	7,401	780	205	985	626	10.3	
喜多方市	47,719	11,973	4,679		16,652	687	269	956	1,388	8.3	
北塩原村	2,797	533	766	44	1,343	565	750	1,315	68	8.3	
西会津町	6,382	1,490	342		1,832	640	147	786	194	10.6	
下郷町	5,745	1,621	616		2,237	773	294	1,067	261	11.7	
南会津町	15,761	4,719	1,869		6,588	820	325	1,145	686	10.3	
只見町	4,383	1,344	334		1,678	840	209	1,049	255	15.2	
檜枝岐村	561	229	4		233	1,118	20	1,138	75	32.1	
南相馬市	60,763	17,625	7,424	792	25,841	830	335	1,165	2,507	12.8	
飯館村	5,723	247			247	118		118	43	17.4	○
相馬市	35,367	11,106	2,657	298	14,061	883	206	1,089	1,186	10.6	
新地町	8,007	1,906	199		2,105	652	68	720	261	14.1	
広野町	4,794	1,047	980		2,027	598	560	1,158	6	0.3	○
檜葉町	6,990	1,082	1,200		2,282	424	470	894	117	5.1	○
富岡町	13,136	32	675		707	7	141	147	11	1.6	※
川内村	2,674	551	116		667	565	119	683	39	5.8	○
大熊町	10,407		208		208		55	55			※
双葉町	6,035		5		5		2	2			※
浪江町	17,736	318	417		735	49	64	114	33	4.5	○
葛尾村	1,426	91	32		123	175	61	236	1	0.8	○
いわき市	342,871	80,961	37,114	7,343	125,418	706	297	1,002	20,726	22.4	
合計	1,920,716	490,374	211,416	19,532	721,322	727	302	1,029	73,129	12.9	24

(注) 福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の市町村のうち、富岡町・大熊町・双葉町は、市町村による生活ごみ等の処理が再開されておりませんが、統計上、合計に含めております。(平成30年4月1日現在)

表-7 1人1日当たりのごみ排出量の対前年度比(単位:g)

順位	市町村名	対前年度比	H30年度	H29年度	順位	市町村名	対前年度比	H30年度	H29年度
1	本宮市	-88	839	927	29	浅川町	12	894	882
2	昭和村	-69	842	911	30	石川町	12	877	865
3	埴町	-59	896	955	31	古殿町	15	696	681
4	福島市	-57	1,182	1,239	32	湯川村	16	802	786
5	大玉村	-55	759	814	33	鮫川村	16	613	597
6	西郷村	-52	906	958	34	玉川村	17	802	785
7	二本松市	-44	824	868	35	国見町	20	1,066	1,046
8	磐梯町	-41	1,142	1,183	36	下郷町	20	1,067	1,047
9	会津坂下町	-37	842	879	37	西会津町	20	786	766
10	喜多方市	-37	956	993	38	南会津町	21	1,145	1,124
11	葛尾村	-34	236	270	39	中島村	22	649	627
12	いわき市	-26	1,002	1,028	40	白河市	22	983	961
13	広野町	-22	1,158	1,180	41	三島町	22	944	922
14	鏡石町	-19	820	839	42	三春町	23	957	934
15	会津若松市	-14	1,143	1,157	43	柳津町	24	845	821
16	川内村	-14	683	697	44	伊達市	25	1,133	1,108
17	川俣町	-13	1,214	1,227	45	天栄村	27	900	873
18	会津美里町	-12	985	997	46	只見町	31	1,049	1,018
19	桑折町	-12	1,129	1,141	47	泉崎村	34	820	786
20	郡山市	-10	1,195	1,205	48	矢吹町	36	909	873
21	南相馬市	-7	1,165	1,172	49	須賀川市	37	963	926
22	北塩原村	-5	1,315	1,320	50	平田村	39	746	707
23	新地町	4	720	716	51	檜枝岐村	50	1,138	1,088
24	田村市	6	842	836	52	飯舘村	50	118	68
25	棚倉町	6	958	952	53	浪江町	65	114	49
26	相馬市	6	1,089	1,083	54	金山町	71	759	688
27	小野町	9	819	810	55	矢祭町	161	817	656
28	猪苗代町	9	1,208	1,199	56	檜葉町	294	894	600

(注1) 対前年度比の数値は各年度の小数点第1位以下も含めたごみ排出量の差のため数値が合わない場合があります。

(注2) 対前年度比の数値が同じ場合の順位付けは端数により行っています。

(注3) 福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の市町村のうち、市町村による生活ごみ等の処理が再開していない富岡町、大熊町、双葉町を含みません。(平成30年4月1日現在)

表-8 1人1日当たりのごみの排出量(単位:g)

(1) 人口5万人以上
(9市)

順位	市町村名	排出量
1	二本松市	824
2	須賀川市	963
3	白河市	983
4	いわき市	1,002
5	伊達市	1,133
6	会津若松市	1,143
7	南相馬市	1,165
8	福島市	1,182
9	郡山市	1,195
	平均	1,099

(3) 人口5千人～1万人未満
(16町村)

順位	市町村名	排出量
1	飯館村	118
2	中島村	649
3	古殿町	696
4	新地町	720
5	平田村	746
6	大玉村	759
7	西会津町	786
8	玉川村	802
9	矢祭町	817
10	泉崎村	820
11	浅川町	894
12	檜葉町	894
13	塙町	896
14	天栄村	900
15	国見町	1,066
16	下郷町	1,067
	平均	802

(5) 全市町村
(56市町村)

順位	市町村名	排出量
1	浪江町	114
2	飯館村	118
3	葛尾村	236
4	鮫川村	613
5	中島村	649
6	川内村	683
7	古殿町	696
8	新地町	720
9	平田村	746
10	大玉村	759
11	金山町	759
12	西会津町	786
13	玉川村	802
14	湯川村	802
15	矢祭町	817
16	小野町	819
17	泉崎村	820
18	鏡石町	820
19	二本松市	824
20	本宮市	839
21	昭和村	842
22	田村市	842
23	会津坂下町	842
24	柳津町	845
25	石川町	877
26	浅川町	894
27	檜葉町	894
28	塙町	896
29	天栄村	900
30	西郷村	906
31	矢吹町	909
32	三島町	944
33	喜多方市	956
34	三春町	957
35	棚倉町	958
36	須賀川市	963
37	白河市	983
38	会津美里町	985
39	いわき市	1,002
40	只見町	1,049
41	国見町	1,066
42	下郷町	1,067
43	相馬市	1,089
44	桑折町	1,129
45	伊達市	1,133
46	檜枝岐村	1,138
47	磐梯町	1,142
48	会津若松市	1,143
49	南会津町	1,145
50	広野町	1,158
51	南相馬市	1,165
52	福島市	1,182
53	郡山市	1,195
54	猪苗代町	1,208
55	川俣町	1,214
56	北塩原村	1,315
	県平均	1,029

(2) 人口1万人～5万人未満
(18市町村)

順位	市町村名	排出量
1	浪江町	114
2	小野町	819
3	鏡石町	820
4	本宮市	839
5	田村市	842
6	会津坂下町	842
7	石川町	877
8	西郷村	906
9	矢吹町	909
10	喜多方市	956
11	三春町	957
12	棚倉町	958
13	会津美里町	985
14	相馬市	1,089
15	桑折町	1,129
16	南会津町	1,145
17	猪苗代町	1,208
18	川俣町	1,214
	平均	920

(4) 人口5千人未満
(13町村)

順位	市町村名	排出量
1	葛尾村	236
2	鮫川村	613
3	川内村	683
4	金山町	759
5	湯川村	802
6	昭和村	842
7	柳津町	845
8	三島町	944
9	只見町	1,049
10	檜枝岐村	1,138
11	磐梯町	1,142
12	広野町	1,158
13	北塩原村	1,315
	平均	921

【参考】

全国平均 918 g / 人・日

- | | |
|-----------|---------------|
| 1位 長野県南牧村 | 305.7 g / 人・日 |
| 2位 長野県川上村 | 308.2 g / 人・日 |
| 3位 徳島県神山町 | 315.0 g / 人・日 |

(注1) 太字は、生活系可燃ごみの有料化を実施している市町村

(注2) 福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の市町村のうち、市町村による生活ごみ等の処理が再開していない富岡町、大熊町、双葉町を含みません。(平成30年4月1日現在)

○ 有料化の実施とごみ排出量の関係について

本県では、生活系可燃ごみの有料化は 24 市町村で実施されていますが、ごみ処理有料化の実施とごみの排出量の関係については、表－9 のとおり、有料化を実施している市町村は未実施の市町村に比べ、1 人 1 日当たりのごみ排出量（平均）が 258g（23.8%）少なくなっています。

また、人口区分別にみても、同様の傾向となっています。（有料化実施市町村は、表－8 の太字部分及び第 2 編統計データ編「8 平成 30 年度ごみ処理手数料の状況（生活系）（P52～59）」を参照。）

表－9 有料化の実施の有無による1人1日当たりのごみ排出量(単位:g)

	有料化実施	有料化未実施	差
排出量	827 (24)	1,085 (32)	-258
人口50,000人以上の市町村の排出量	983 (1)	1,104 (8)	-121
人口10,000～50,000人の市町村の排出量	803 (9)	1016 (9)	-213
人口5,000～10,000人の市町村の排出量	749 (10)	879 (6)	-130
人口5,000人未満の市町村の排出量	797 (4)	987 (9)	-190

(注1) ()内は市町村数

(注2) 福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の市町村うち、市町村による生活ごみ等の処理が再開していない富岡町、大熊町、双葉町を含みません。(平成30年4月1日現在)

(2) ごみの分別数の状況について

各市町村においては、容器包装リサイクル法が平成 9 年度から本格施行されたことなどにより分別収集が進んできています。

平成 30 年度の状況は表－10 のとおりであり、分別数は 19 区分から 4 区分までとなっています。

表－10 ごみの分別数の状況

分別数	市町村名	市町村数
19	二本松市、本宮市、大玉村	3
18	檜枝岐村	1
17	石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、会津坂下町、三春町	7
16	国見町、猪苗代町、会津美里町、南相馬市	4
15	田村市、小野町、天栄村、北塩原村、西会津町、磐梯町、新地町	7
14	伊達市、桑折町、須賀川市、鏡石町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、会津若松市、下郷町、南会津町、柳津町、三島町、只見町、いわき市	15
13	郡山市、広野町、檜葉町、浪江町、湯川村、川内村	6
12	福島市、白河市、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町	6
11	相馬市、川俣町、昭和村	3
10	金山町	1
9	飯館村	1
7	喜多方市	1
4	葛尾村	1

(注1) 分別数とはごみを出す住民に対し市町村が求める分別の数。例えばアルミ缶とスチール缶を同じ袋で一括して出させている場合には、その後にごみ処理施設で分別している場合でも、分別数は1と数えています。

(注2) 合併した市町で地域により分別数が異なる場合は、最も人口が多い地域の分別数を採用して集計しました。

(注3) 福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の市町村のうち、市町村による生活ごみ等の処理が再開していない富岡町、大熊町、双葉町を含みません。(平成30年4月1日現在)

(3) ごみの処理状況について

平成30年度のごみ処理フローは図－3のとおりです。

一般廃棄物処理施設で処理されたごみの総量は698,503 tで、このうち、直接焼却処理された量は609,372 t (87.2%)、粗大ごみ処理施設等での処理量は62,702 t (9.0%) となっています。

最終処分された量は66,257 tで、このうち、焼却等の中間処理後に最終処分された量が63,446 t (95.8%)、直接最終処分された量が2,811 t (4.2%) となっています。

総資源化量は92,661 tで、このうち、収集後に直接資源化された量が23,618 t (25.5%)、焼却施設や粗大ごみ処理施設等の廃棄物処理施設を経て資源化された量が49,511 t (53.4%)、集団回収量が19,532 t (21.1%) となっています。

処理人口等（単位：千人）

処理系統図（単位：t／年）

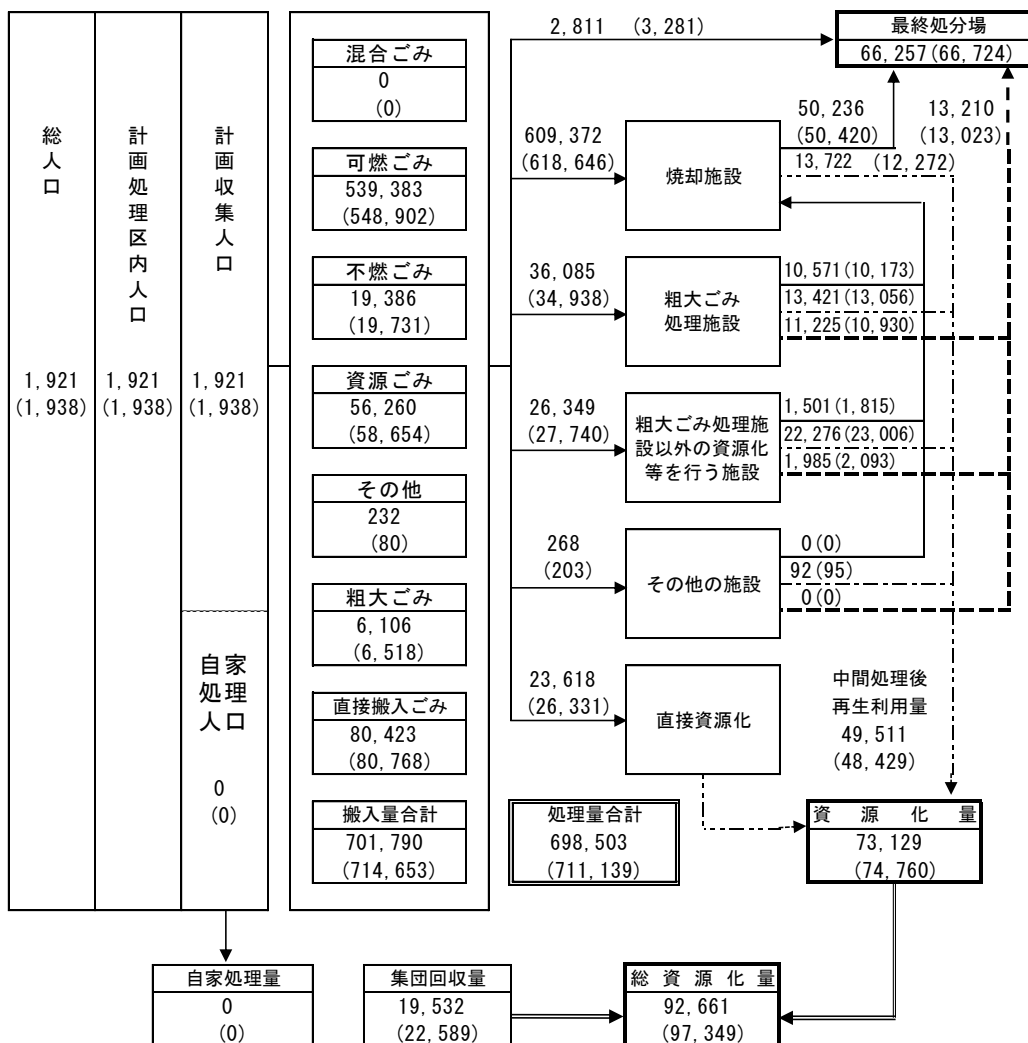


図-3 ごみ処理のフロー図

(注) () 内は平成29年度の実績

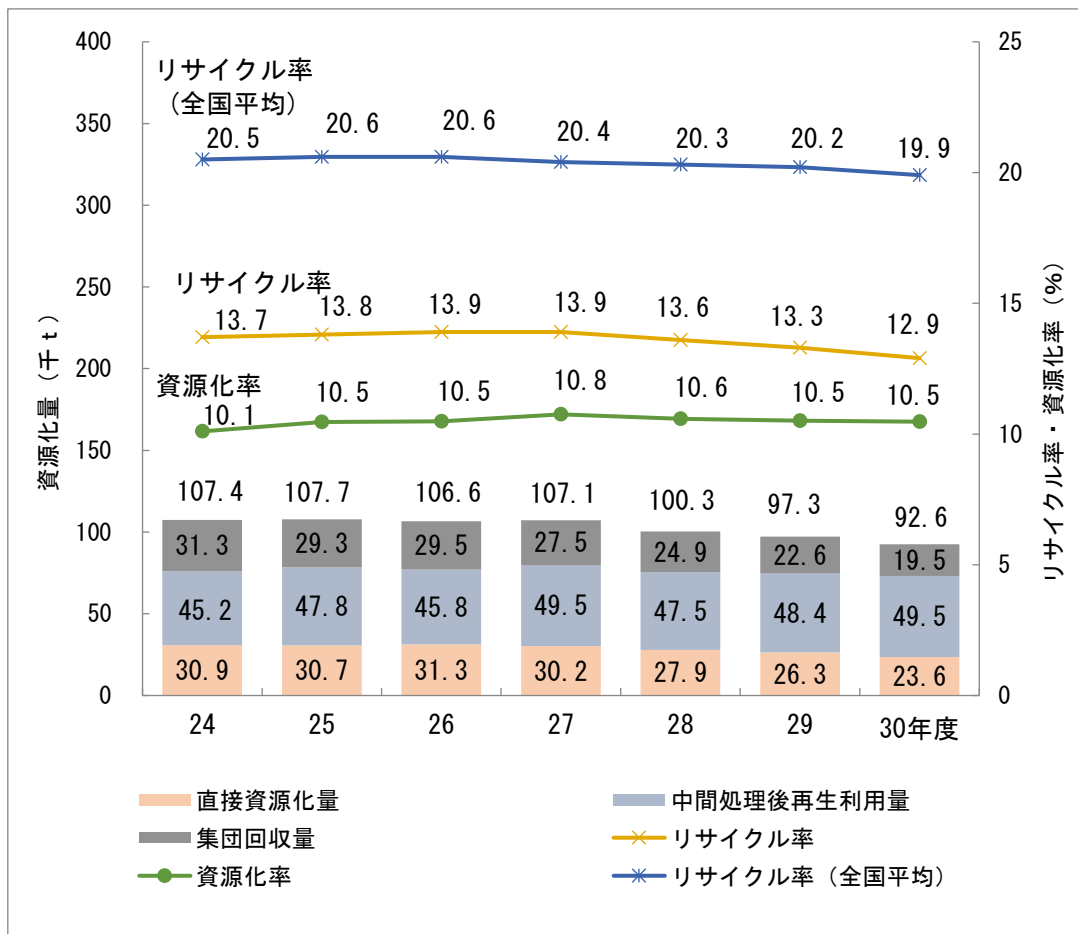
前年度搬入分を処理するなどの理由により、搬入量と処理量は一致しません。

※ごみ処理に関する基本的な用語

- ・直接資源化量：資源化等を行う施設を経ずに直接再生業者に搬入された量
- ・中間処理後再生利用量：粗大ごみ施設等による中間処理後に再生利用された量
- ・資源化量：（直接資源化量）＋（中間処理後の再生利用量）
- ・集団回収量：市民団体等により収集されたもののうち、市町村が用具の貸出、補助金等の交付等により関与しているものの量
- ・総資源化量：（直接資源化量）＋（中間処理後の再生利用量）＋（集団回収量）
- ・リサイクル率＝ $\frac{\text{総資源化量}}{\text{（ごみ処理量）} + \text{（集団回収量）}} \times 100$
- ・資源化率＝ $\frac{\text{（資源化量）}}{\text{（ごみ処理量）}} \times 100$

(4) リサイクル率・資源化率について

リサイクル率及び資源化率については、平成 25 年度以降増加傾向にありましたが、平成 27 年度を境に減少に転じております。



図ー4 総資源化量とリサイクル率の推移

○ 市町村別リサイクル率の状況

人口規模別のリサイクル率の高い市町村のランキングは表-11のとおりです。

表-11 リサイクル率(単位:%)

(1) 人口5万人以上 (9市)			(3) 人口5千人~1万人未満 (16町村)			(5) 全市町村 (56市町村)		
順位	市町村名	リサイクル率	順位	市町村名	リサイクル率	順位	市町村名	リサイクル率
1	いわき市	22.4	1	大玉村	18.2	1	檜枝岐村	32.1
2	二本松市	18.1	2	飯館村	17.4	2	三春町	23.0
3	会津若松市	13.8	3	新地町	14.1	3	いわき市	22.4
4	南相馬市	12.8	4	国見町	12.3	4	大玉村	18.2
5	伊達市	11.6	5	泉崎村	11.9	5	二本松市	18.1
6	白河市	10.2	6	下郷町	11.7	6	田村市	17.6
7	郡山市	9.8	7	中島村	11.4	7	飯館村	17.4
8	福島市	9.3	8	西会津町	10.6	8	本宮市	16.1
9	須賀川市	8.7	9	玉川村	10.4	9	只見町	15.2
	平均	13.3	10	天栄村	10.3	10	猪苗代町	14.7
			11	古殿町	10.2	11	新地町	14.1
			12	平田村	10.0	12	会津若松市	13.8
			13	矢祭町	10.0	13	南相馬市	12.8
			14	浅川町	10.0	14	鏡石町	12.6
			15	塙町	10.0	15	小野町	12.4
			16	檜葉町	5.1	16	国見町	12.3
				平均	11.2	17	桑折町	12.1
						18	三島町	12.1
						19	泉崎村	11.9
						20	下郷町	11.7
						21	伊達市	11.6
						22	鮫川村	11.6
						23	中島村	11.4
						24	矢吹町	11.3
						25	磐梯町	11.2
						26	会津坂下町	10.7
						27	相馬市	10.6
						28	西会津町	10.6
						29	玉川村	10.4
						30	南会津町	10.3
						31	天栄村	10.3
						32	会津美里町	10.3
						33	古殿町	10.2
						34	白河市	10.2
						35	平田村	10.0
						36	矢祭町	10.0
						37	浅川町	10.0
						38	塙町	10.0
						39	郡山市	9.8
						40	石川町	9.4
						41	棚倉町	9.3
						42	福島市	9.3
						43	西郷村	9.2
						44	須賀川市	8.7
						45	北塩原村	8.3
						46	喜多方市	8.3
						47	川俣町	7.1
						48	川内村	5.8
						49	昭和村	5.6
						50	柳津町	5.3
						51	檜葉町	5.1
						52	金山町	4.6
						53	浪江町	4.5
						54	湯川村	4.1
						55	葛尾村	0.8
						56	広野町	0.3
							平均	12.9

(2) 人口1万人~5万人未満 (18市町村)			(4) 人口5千人未満 (13町村)		
順位	市町村名	リサイクル率	順位	市町村名	リサイクル率
1	三春町	23.0	1	檜枝岐村	32.1
2	田村市	17.6	2	只見町	15.2
3	本宮市	16.1	3	三島町	12.1
4	猪苗代町	14.7	4	鮫川村	11.6
5	鏡石町	12.6	5	磐梯町	11.2
6	小野町	12.4	6	北塩原村	8.3
7	桑折町	12.1	7	川内村	5.8
8	矢吹町	11.3	8	昭和村	5.6
9	会津坂下町	10.7	9	柳津町	5.3
10	相馬市	10.6	10	金山町	4.6
11	南会津町	10.3	11	湯川村	4.1
12	会津美里町	10.3	12	葛尾村	0.8
13	石川町	9.4	13	広野町	0.3
14	棚倉町	9.3		平均	8.1
15	西郷村	9.2			
16	喜多方市	8.3			
17	川俣町	7.1			
18	浪江町	4.5			
	平均	11.9			

【参考】

全国ベスト3		
1位	北海道豊浦町	84.8%
2位	鹿児島県大崎町	83.1%
3位	徳島県上勝町	80.7%

(注) 福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の市町村のうち、市町村による生活ごみ等の処理が再開していない富岡町、大熊町、双葉町を含みません。(平成30年4月1日現在)

(5) 最終処分場埋立量について

平成 30 年度の最終処分量は 66.2 千 t であり、前年度の 66.7 千 t と比較すると 0.5 千 t 減少しています。（1 日当たりでは 1.3 t の減少）

直接最終処分量は 2.8 千 t であり、前年度の 3.3 千 t と比較すると 0.5 千 t 減少しています。

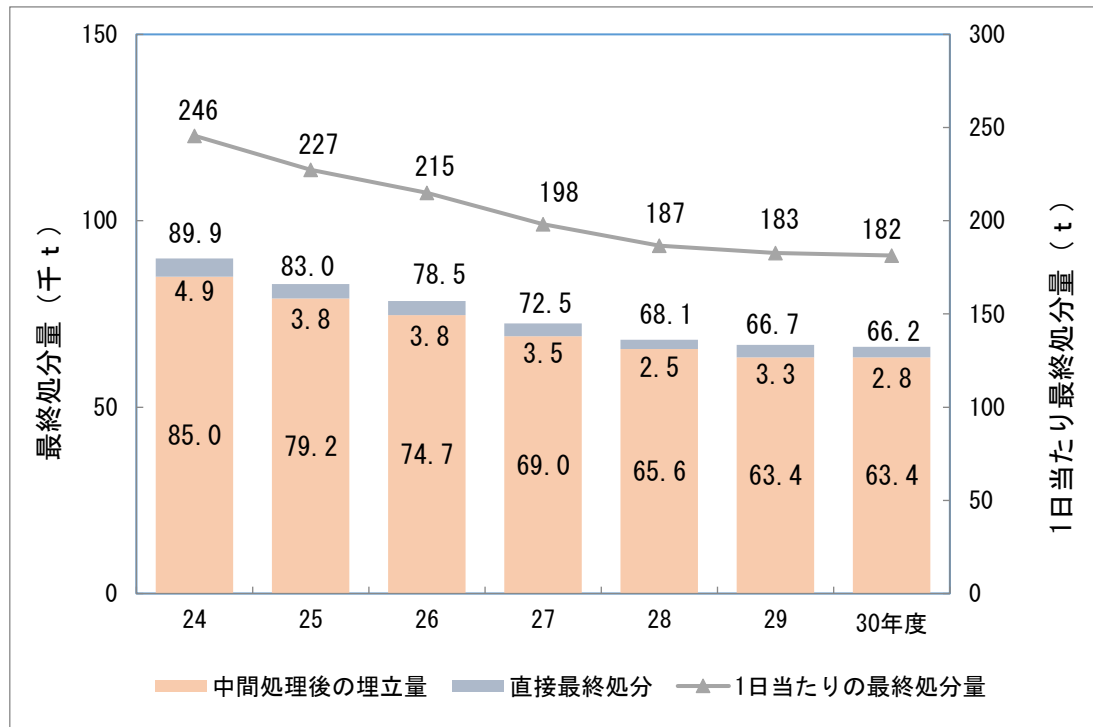


図-5 最終処分量と1日当たりの最終処分量の推移

表-12 ごみ処理の推移

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
a 総人口(人)	1,979,964	1,963,872	1,951,179	1,966,221	1,958,850	1,937,827	1,920,716	
b 計画処理区域内人口(人)	1,979,964	1,963,872	1,951,179	1,966,221	1,958,850	1,937,827	1,920,716	
c 計画収集人口(人)	1,979,964	1,963,872	1,951,179	1,966,221	1,958,850	1,937,827	1,920,716	
d 自家処理人口(人)	0	0	0	0	0	0	0	
e ごみ処理事業経費(千円)	21,052,093	21,289,535	22,095,320	28,160,369	29,587,110	32,117,618	35,429,267	
f 建設改良費(千円)	1,650,126	880,083	1,525,429	7,279,283	8,025,200	10,957,045	14,189,044	
g 処理及び施設維持管理経費(千円)	18,562,074	19,153,910	18,931,252	19,689,454	20,304,798	19,891,800	19,825,585	
h その他(千円)	839,893	1,255,542	1,638,639	1,191,632	1,257,112	1,268,773	1,414,638	
i 1人当たりの処理事業経費(円)	10,633	10,841	11,324	14,322	15,104	16,574	18,446	
j 1人当たりの処理及び施設維持管理経費(円)	9,375	9,753	9,702	10,014	10,366	10,265	10,322	
k 1人当たりの処理及び施設維持管理経費(円)	24,625	25,546	25,742	26,578	28,498	27,972	28,383	
l ごみ総排出量(t/年)	790,574	777,051	769,848	760,627	742,598	737,242	721,322	
m 1人当たりのごみ排出量(g/人・日)	1,094	1,084	1,081	1,057	1,039	1,042	1,029	
n 計画収集量(t/年)	759,257	747,785	740,269	733,176	717,703	714,653	701,790	
o 収集ごみ量(t/年)	662,068	658,322	653,454	643,962	633,749	633,885	621,367	
p 直接搬入量(t/年)	97,189	89,463	86,815	89,214	83,954	80,768	80,423	
q 生活系ごみ搬入量(t/年)	536,830	534,282	528,396	520,984	507,380	502,461	509,906	
r 事業系ごみ搬入量(t/年)	222,427	213,503	211,873	212,192	210,323	212,192	211,416	
s 自家処理量(t/年)	0	0	0	0	0	0	0	
t ごみ処理量(t/年)	753,790	749,789	735,432	740,831	712,509	711,139	698,503	
u 直接焼却量(t/年)	641,444	640,065	633,565	640,445	620,159	618,646	609,372	
v 直接埋立量(t/年)	4,943	3,786	3,817	3,502	2,503	3,281	2,811	
w 資源化等の中間処理量(t/年)	76,488	75,276	66,759	66,704	61,991	62,881	62,702	
x 直接資源化量(t/年)	30,915	30,662	31,291	30,180	27,856	26,331	23,618	
y 資源化量(t/年)	76,084	78,412	77,101	79,658	75,358	74,760	73,129	
z 集団回収量(t/年)	31,317	29,266	29,579	27,451	24,895	22,589	19,532	
aa 資源化率(%)	10.1	10.5	10.5	10.8	10.6	10.5	10.5	
ab リサイクル率(%)	13.7	13.8	13.9	13.9	13.6	13.3	12.9	
ac 1日当たりの最終処分量(t/日)	246	227	215	198	186	183	182	
全国	1人当たりのごみ排出量(g/人・日)	964	958	947	939	925	920	918
	資源化率(%)	15.5	15.8	15.8	15.8	15.9	16.0	15.9
	リサイクル率(%)	20.5	20.6	20.6	20.4	20.3	20.2	19.9

(注) i = (e/b) × 1,000

j = (g/b) × 1,000

k = (g/t) × 1,000

l = n + z

m = (l/b/365) × 1,000,000 ※平成15,19,23,27年度は「365」を「366」として計算した。

n = q + r

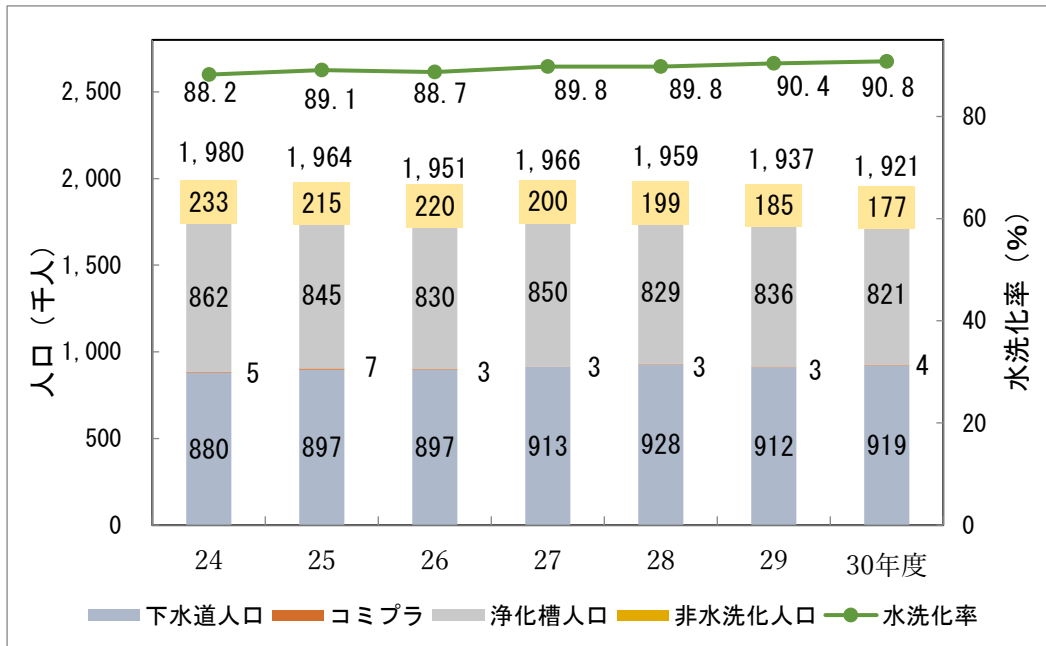
aa = (y/t) × 100

ab = (y+z)/(t+z) × 100

3 福島県のし尿処理の状況

(1) 水洗化の状況について

平成 30 年度の水洗化率は 90.8%で、うち下水道による水洗化率は 47.8%、浄化槽及びコミュニティプラント（コミプラ）による水洗化率は 43.0%となっています。（P20 参照）

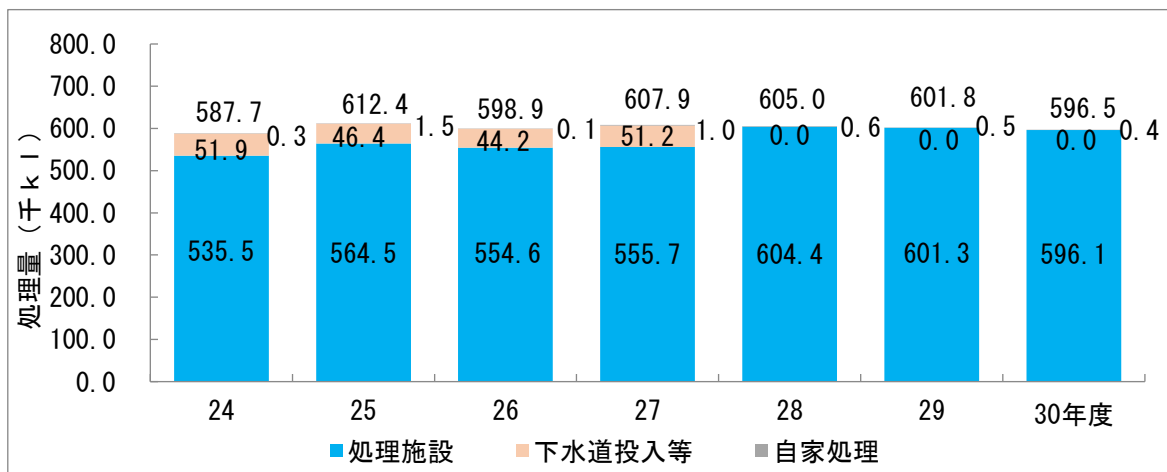


図－6 水洗化人口等の推移

(2) し尿及び浄化槽汚泥の処理方法について

平成 30 年度のし尿及び浄化槽汚泥の排出量は 596,494 kℓで、前年度の 601,814 kℓと比較すると 5,320 kℓ減少しています。

また、処理方式別に見ると、し尿処理施設等における処理量は 596,084 kℓ(99.9%)、自家処理量が 410 kℓ(0.1%)となっています。



図－7 し尿及び浄化槽汚泥の処理状況

処理人口等（単位：千人）

処理系統図（単位：kℓ／年）

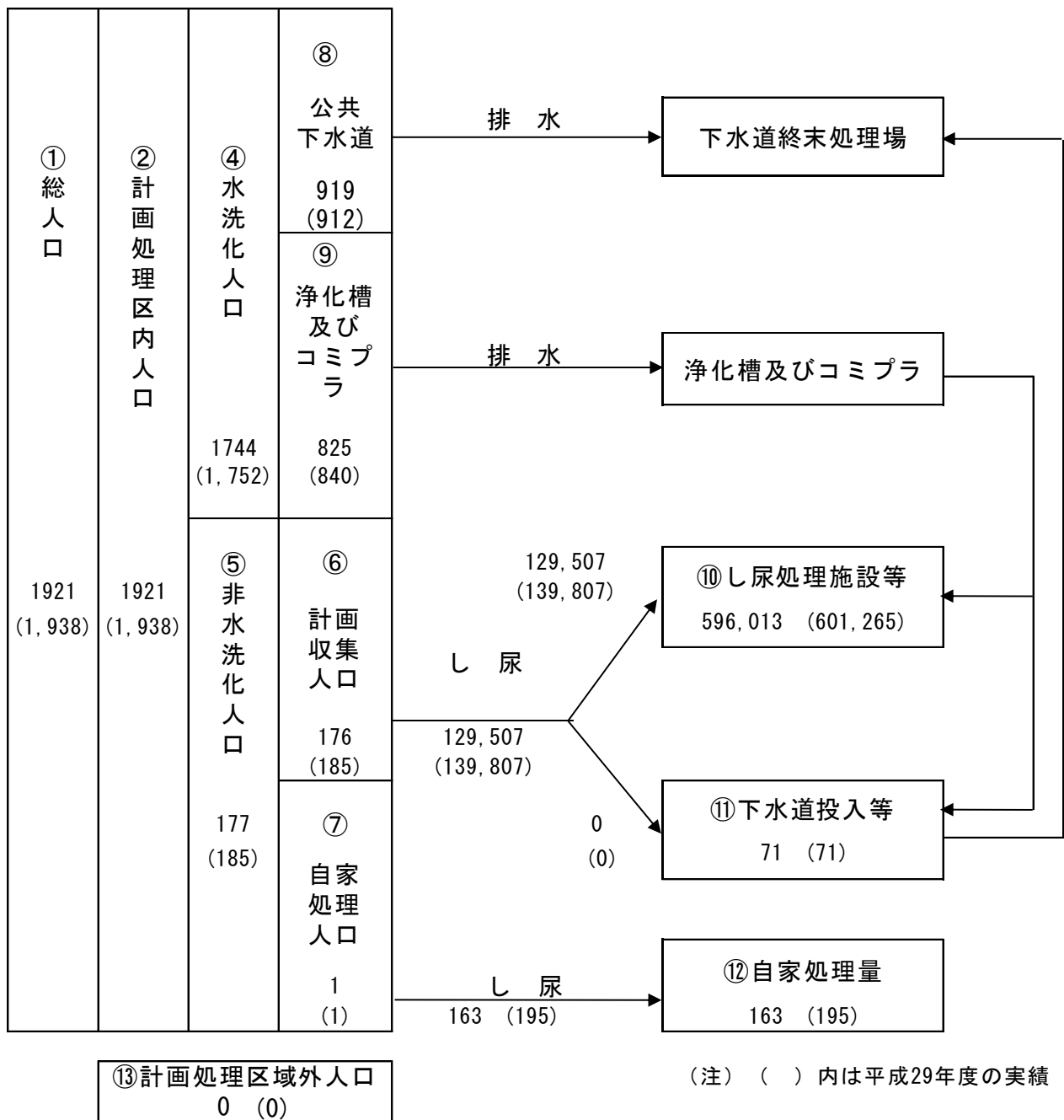


図-8 し尿処理のフロー図

表-13 し尿処理の推移

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
a 総人口(人)①	1,979,964	1,963,872	1,951,179	1,966,221	1,958,850	1,937,827	1,920,716
b 計画処理区域内人口(人)②	1,979,964	1,963,872	1,951,179	1,966,221	1,958,850	1,937,827	1,920,716
c 水洗化率(%)	88.2	89.1	88.7	89.8	89.8	90.4	90.8
d 水洗化人口(人)④	1,747,303	1,749,237	1,730,999	1,766,202	1,759,867	1,752,393	1,744,180
e 公共下水道人口(人)⑧	879,940	897,303	897,444	913,603	928,080	912,376	919,433
f コミュニティプラント人口(人)⑨	5,249	6,970	2,817	2,877	2,950	3,946	3,981
g 浄化槽人口(人)⑨	862,114	844,964	830,738	849,722	828,837	836,071	820,766
h 合併処理浄化槽人口(人)	481,306	494,402	492,743	497,423	503,028	524,517	484,502
i 非水洗化率(%)	11.8	10.9	11.3	10.2	10.2	9.6	9.2
j 非水洗化人口(人)⑤	232,661	214,635	220,180	200,019	198,983	185,434	176,536
k 計画収集人口(人)⑥	231,709	214,067	219,925	199,720	198,903	185,355	176,457
l 自家処理人口(人)⑦	952	568	255	299	80	79	79
m 計画処理区域内のし尿排出量(kl/年)	587,551	612,357	598,961	607,971	605,090	601,814	596,494
n し尿処理量(kl/年)	587,739	612,357	598,961	607,971	605,090	601,814	596,494
o 計画処理量(t/年)	587,450	610,876	598,947	606,998	604,494	601,336	596,084
p し尿処理施設(kl/年)	535,551	564,493	554,629	555,742	604,431	601,265	596,013
q ごみ堆肥化施設(kl/年)	0	0	81	60	57	71	71
r 下水道投入(kl/年)	51,751	46,383	44,237	51,196	6	0	0
s 農地還元(kl/年)	0	0	0	0	0	0	0
t その他(kl/年)	148	0	0	0	0	0	0
u 自家処理量(kl/年)	289	1,481	14	973	596	478	410

(注) $c = (d/b) \times 100$

$i = (j/b) \times 100$

(対総人口ベース)

計画区域率 ②/①=100.0%(100.0%) 公共下水道水洗化率 ⑧/①= 47.9%(47.1%)

水洗化率 ④/①= 90.8%(90.4%) 浄化槽及びコミプラ水洗化率 ⑨/①= 42.9%(43.3%)

非水洗化率 ⑤/①= 9.2%(9.6%) (対非水洗化人口)

計画収集率 ⑥/①= 9.2%(9.6%) 計画収集率 ⑥/⑤= 100%(100%)

自家処理率 ⑦/①= 0.0%(0.0%) 自家処理率 ⑦/⑤= 0%(0%)

(3) 浄化槽の設置状況について

新設浄化槽基数は表-14のとおり平成24年度以降は増加傾向にありましたが、平成27年度を境に減少に転じており、平成30年度は前年度の新規設置基数を352基下回る、4,028基（対前年度比92.0%）となっています。

また、浄化槽設置基数の推移については、次頁の図-9のとおり、平成14年度をピークに減少に転じており、その後平成17年度以降は横ばい傾向となっています。平成30年度の浄化槽設置基数は280,127基で、そのうち単独処理浄化槽が157,198基と約56%を占めています。

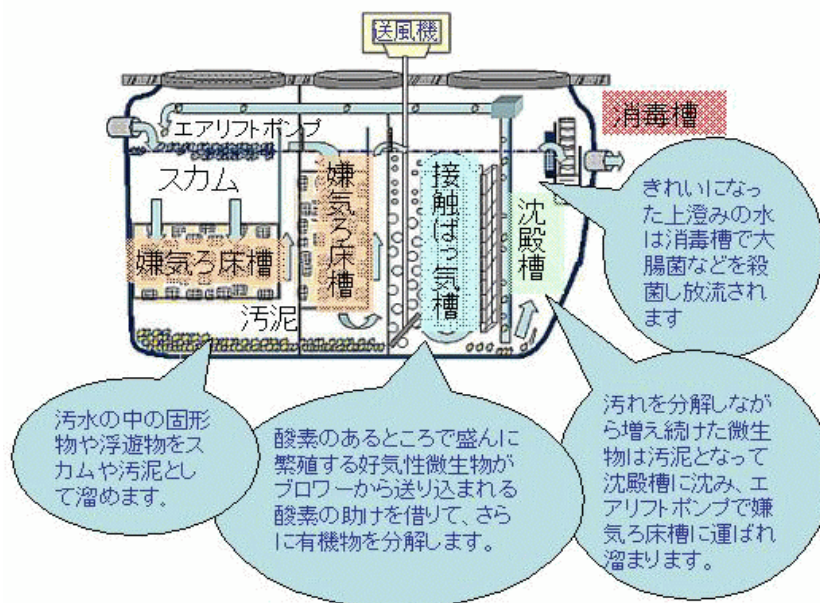
表-14 年度別新規設置基数

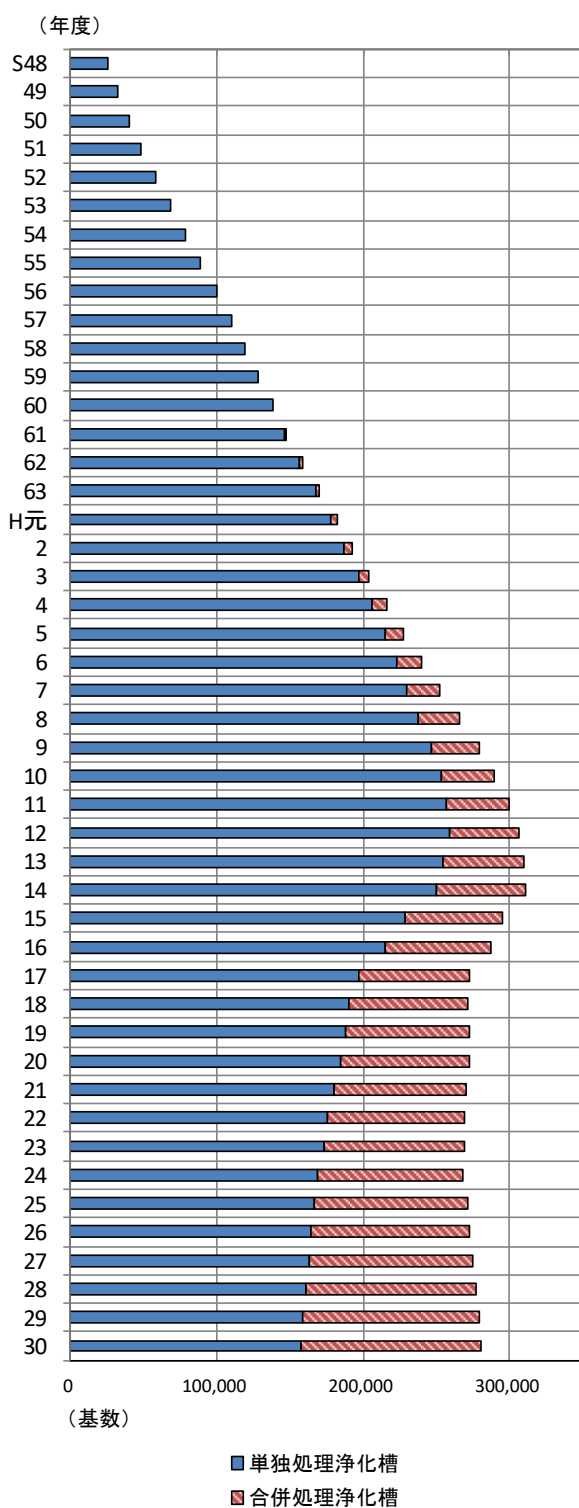
年度	24	25	26	27	28	29	30
基数	4,434	4,856	4,535	5,217	4,854	4,380	4,028

表-15 平成30年度末人槽別設置基数

人槽規模	5～20	21～100	101～200	201～500	501～	合計
基数	260,163	17,287	1,426	983	268	280,127

〈参考〉浄化槽のしくみ（嫌気ろ床接触ばっ気方式の例）





年度	单独处理净化槽	合并处理净化槽	合計
S48	25,460		25,460
49	32,182		32,182
50	40,186		40,186
51	48,330		48,330
52	58,369		58,369
53	68,776		68,776
54	78,329		78,329
55	88,769		88,769
56	100,090		100,090
57	109,812		109,812
58	118,967		118,967
59	128,446		128,446
60	138,273		138,273
61	145,912	2,046	147,958
62	156,964	2,372	159,336
63	167,651	2,953	170,604
H元	177,978	4,064	182,042
2	187,183	5,430	192,613
3	196,843	7,339	204,182
4	206,038	9,735	215,773
5	214,787	13,242	228,029
6	222,965	17,419	240,384
7	230,299	22,023	252,322
8	237,607	27,917	265,524
9	246,635	32,455	279,090
10	253,293	36,483	289,776
11	257,421	42,022	299,443
12	259,037	47,355	306,392
13	255,162	54,694	309,856
14	250,030	60,957	310,987
15	228,431	66,518	294,949
16	215,641	72,275	287,916
17	196,915	75,480	272,395
18	190,947	80,266	271,213
19	187,916	84,262	272,178
20	184,988	87,271	272,259
21	180,519	90,508	271,027
22	176,165	92,821	268,986
23	173,160	96,139	269,299
24	168,618	99,489	268,107
25	166,749	104,382	271,131
26	164,583	108,247	272,830
27	162,778	112,762	275,540
28	161,124	116,536	277,660
29	159,277	120,048	279,325
30	157,198	122,929	280,127

図-9 浄化槽設置基数の推移